

二月廿七日(日)

12.13 名古屋 10-24 7~80

三層 250kg X 54 25kg
 24kg X 60
 20%
 12.10 140 60%
 150 80%

12.11 121 } 11.55
 308 } 11.60

死 209 329
 ↓
 189 260

195 25
 64 150

2.25 6.25

自
 之
 色
 化
 鏡
 13
 (11.10)
 取
 上
 入

二月廿八日(月)

19.12.16
 在比島 00 飛行団
 作事の内命と云く
~~爾後此の時同子云~~
~~吾倫子十拾七~~
~~新用古あ切替~~
~~玉財布七拾七~~
~~作事と鏡付七拾~~

300

三月十日(水)

◎ 2F0 補修 修理 又 中 止 ?
12.17. 19 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

◎ 12.18. 部 組 交 付 後 2 部 機 更 正

三月一日(水)

◎ 12 均 頃 比 島 面 航 空 作 成

1. 本 機 機 組 少 十 二 生 産 總 作 1
不 良 思 二 部 故 障 航 空

2. 整 備 力 二 部 整 修 1 部 研 究
航 空 機 組 更 正

3. 飛 行 場 不 良 雨 降 擊

4. 特 攻 隊

自 衛 隊 第 九 八 自 衛 隊 一 部 研 究
大 隊 組 隊 航 空 機 組 更 正

Handwritten mark resembling a stylized '3' or 'J' with a diagonal slash.

三月三日(金)

◎2.22
名付夜半報
B-24
1-404
學歴20(93)
4
學歴25
休2+

一、本十二月十九日前那方面より三、四十編生と云々

大村附近に於ける
 二、昨十月十八日迄
 三、十編(大不備)

① 本十二月十九日前那方面より三、四十編生と云々
 ② 大村附近に於ける
 ③ 昨十月十八日迄
 ④ 十編(大不備)

⑤ 本十二月十九日前那方面より三、四十編生と云々
 ⑥ 大村附近に於ける
 ⑦ 昨十月十八日迄
 ⑧ 十編(大不備)

一、本十二月十九日前那方面より三、四十編生と云々
 二、大村附近に於ける
 三、昨十月十八日迄
 四、十編(大不備)

Handwritten signature or scribble

Handwritten scribbles or marks on the right page.

三月三日(金)

◎12.22
名古屋事
B-2
10404
厚巻20(197)
厚巻25
体巻2+

船中五十五百六十四

一、本一月十九日午前那方面よりB22三、四子機主として九州大村市附近に飛来せり

二、昨十二月十八日名古屋附近飛来時と於ける機體果実の如し

十七機(内不備機五機) 一機は...

船中五十五百六十四

一、我機隊は引續きシンロ機を以て最近の機體を以てして十一月十七、十八日及び十九日現在迄不明なるもの次を知し

二、其のシンロ機は現在迄不明なるもの次を知し

三、十一月十三日シンロ機を以てして不明なるもの次を知し

四、十一月十八日シンロ機を以てして不明なるもの次を知し

五、十一月十九日シンロ機を以てして不明なるもの次を知し

三

三月五日(日)

◎12.28 東洋艦 60 艘
野島 17 隻 29 隻
敵 1 隻 3 隻 中島工場 7 隻
航工 2 隻 1 隻 根 1 隻 断 1 隻
ト全圖 1 隻 1 隻

◎12.29 日報 B-29 1 隻
塩 1 隻 1 隻 1 隻 450 斤

◎12.30 日報 B-29 1 隻
決 1 隻 1 隻 1000 斤
敵 航工 工場 大改 機 2 隻
野 2 隻 各 1 隻 1 隻 7 隻
相 敵 1 隻 1 隻 1 隻 1 隻
訓 1 隻 1 隻 1 隻 1 隻

大本營發表 敵機九機 我特別攻撃隊萬葉、石陽、旭光、若櫻、精華、殉義等の各飛行隊は爾他の航空部隊と共に連日ミンドロ島サンホセ附近、レイテ灣内等の敵艦船に對し攻撃續行中にして十二月二十日より同二十二日の三日間に收めたる戦果中現在迄に判明せるもの次の如し

サンホセ附近 轟撃沈 輸送船 四隻、巡洋艦 一隻、若しくは驅逐艦二隻、炎上 輸送船四隻、巡洋艦一隻、巡洋艦若しくは驅逐艦一隻、艦種不詳二隻、擊破 輸送船一隻

レイテ灣 轟沈 輸送船一隻、炎上 艦種不詳一隻、スール海 擊沈 輸送船一隻、炎上 輸送船一隻

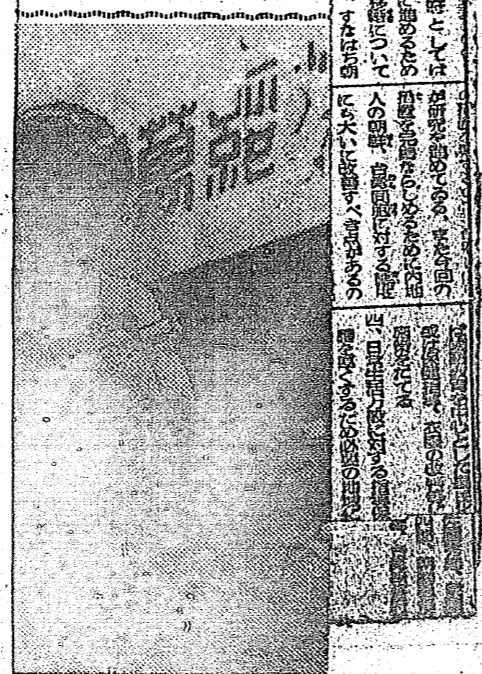
25

36

三月七日(六)

大日本航空隊	敵機	我機	損傷	備考
0	0	0	0	0

日七百機隊の本營地を以て本隊敵機が偵察に廻つた時、警備隊が警戒を怠り各機隊の周りがかりに射撃が交はつたため、隊員等も死傷した。時々は警備隊の妨害を受け、隊員等は速に本隊に合流して、本隊の防衛に努めた。



大本營發表 (船十九年三月二十五日) 我が航空部隊は十二月二十五日夜サイベ島の敵飛行場を襲撃し五ヶ所を炎上せしめ二ヶ所に大爆発を生ぜしめたり。本攻撃に於て我が方未歸還二機を出せり。

三月六日(月)

大本營發表 (船十九年三月二十九日) 本十二月二十七日午後マリナ諸島よりB29約五十機輸都に來襲せり十七時迄に判明せる連撃戦果次の如し
撃墜十四機(内不確實五機)損害甚大なるもの二十七機、撃墜機中二機は偵察に依る
我方の損害自爆未歸還(輸都)機二機(計四機)

39

三月七日(火)

興生事業を活潑化
資金文通にも便宜供與

興生事業の振興と資金文通の便宜供與は、我が國の産業の発展に大いに寄與するものあり。茲に、興生事業の振興を目的として、資金文通の便宜供與を旨として、興生事業の振興に資するものあり。茲に、興生事業の振興を目的として、資金文通の便宜供與を旨として、興生事業の振興に資するものあり。

興生事業の振興と資金文通の便宜供與は、我が國の産業の発展に大いに寄與するものあり。茲に、興生事業の振興を目的として、資金文通の便宜供與を旨として、興生事業の振興に資するものあり。

大本營発表 (船十号二月十八日早五時) 一、我が水上部隊は十二月二十六日夜、ソドロ島サンホセ沖に突入し敵機の妨害を排除しつつ泊地附近の敵輸送船四隻並びに魚雷艇数隻等を攻撃し輸送船全部、魚雷艇一隻、小型舟艇二隻を撃沈すると共に敵飛行場並びに物資集積所を砲撃し、附近一帯を火の海と化せしめたり

二、我が航空隊は右攻撃に協力し敵飛行場を爆撃、敵箇所を爆砕炎上せしめたる外、敵魚雷艇四隻を撃沈せり

三、本攻撃に於ける我が方の損害、駆逐艦一隻大破

戦果次の如し

駆逐艦十四機の内不備五機損害を蒙りたるもの二十七機、うち二機は體格りに依り我方の捕獲自來の間に沈没したるものあり

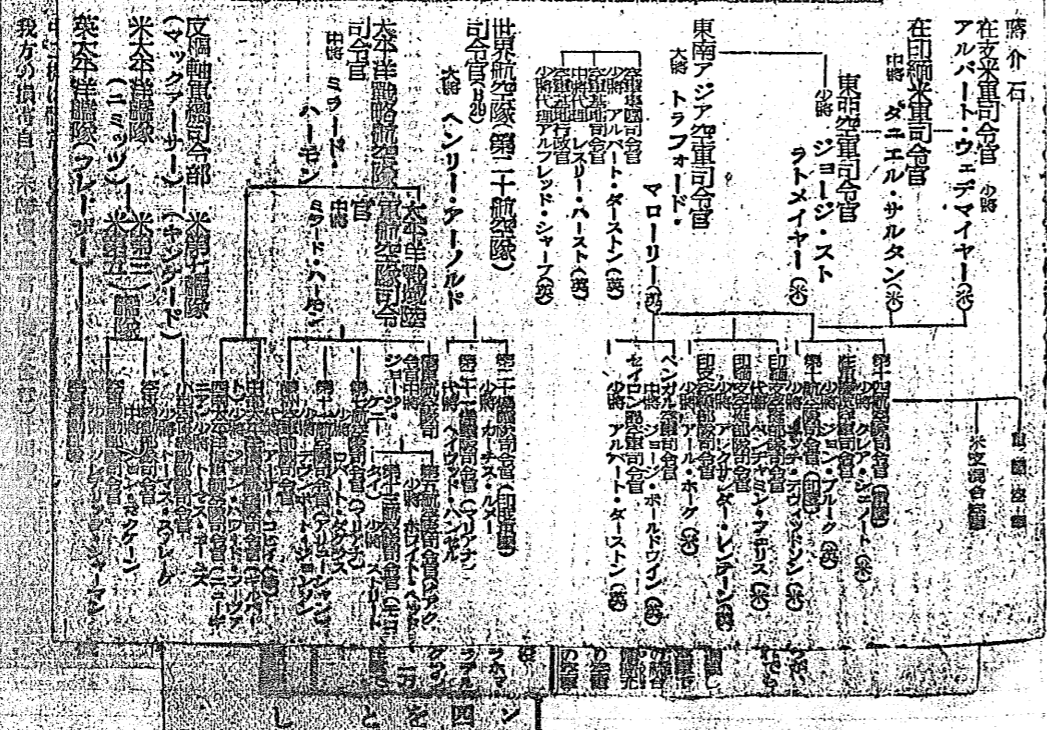
日 六 日

三月七日(火)

三月六日(日)

大本營
下口島
襲並び
撃沈す
化せし
二、我が
めたる外
三、本攻

大東亞戦域の敵空軍陣容



Handwritten signature or initials.